

また、新たにひとり親世帯や生活保護世帯等の低所得者に対し利用料の一部を助成する「放課後児童クラブづくり親等支援事業」に取り組みます。

さらに、未就学児童の入院や通院に係ることも医療費助成について、窓口で支払いの必要がない現物給付制度の導入に取り組みます。

保育については、分園及び小規模保育事業の促進を図るための家賃補助事業や保育士確保に向けた保育士宿舎借上事業等を実施します。

また、待機児童ゼロを目指し、平成30年度から平成31年4月までに新たに約1,000人の定員増を目指します。



【平成28年に開所したコスモストーリー保育園】

認可外保育所については、保護者の負担を軽減する「ひとり親世帯及び待機児童世帯に対する保育料助成事業」のほか、行事費や教材費等の助成事業を継続して実施します。

また、小規模保育事業の実施に向けた支援を行い、認可化移行の促進を図ります。

③「まちの活力を生み出す産業づくり」

農業農村整備については、安定的な農業生産環境の確保と生産性の向上を図るため、新たに農業水利施設整備事業(石川地区)に着手するとともに、引き続き団体営ため池等整備事業(東山地区)、農業基盤整備促進事業(うるま第3地区、与那城上原)などに取り組みます。

農業振興については、安定的な農業経営を支援する各種施策や津堅島アリモドキノウムシの根絶及び耕作放棄地の再生、農地の集積流動化に向けた取り組み等を総合的かつ計画的に展開します。

畜産業振興については、耕畜連携総合整備調査事業に加え、肉用牛及び山羊の優良種を普及し生産基盤の強化拡大を図り、安定的な畜産経営を支援します。

水産業振興については、「漁業関連施設整備計画」の策定や漁業経営の安定化と効率化を図るため、比嘉漁港の整備に引き続き取り組みます。

水産業振興戦略拠点施設整備事業については、今年秋のグラウンドオープンに向け、産直レストラン棟及び施設周辺整備に取り組みます。



【農水産業振興戦略拠点施設「うるマルシェ」完成予想図】

工会及び金融機関と連携し新規創業者の支援を推進します。

観光振興については、引き続き「第2次うるま市観光振興ビジョン」に基づき、宿泊施設の拡充をはじめ、体験型観光商品のサービス展開、安全・安心な民泊の推進など戦略的な観光産業の振興に努めます。

また、各種メディアを活用した観光情報の発信に取り組み、島しょ地域、エイサー・闘牛などの地域の魅力を活かしたイベントを支援し観光誘客の拡大を図ります。

さらに、広域的な観光誘客として中城湾港へのクルーズ船の受け入れやスポーツコンベンションを推進しスポーツ交流人口の拡大に取り組みます。

雇用促進・就業支援については、求職者と事業者のミスマッチの解消と定着率向上のため、企業向けセミナーの充実を図り、街角コンタクトセンターにおける就労支援事業を強化します。

キャリア教育については、引き続き「うるま市グッドジョブ連携推進事業」を推進し、新たなプログラムを取り入れ児童生徒一人ひとりの社会的、職業的自立に向けて、事業の充実に努めます。

商工業については、地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム支援商品券発行事業に取り組みるとともに、商品開発プロモーション事業を実施し、県内外に向け、農商工連携による市産品のPRや新たな商品開発・既存商品を含めた販路拡大を図ります。

また、「創業支援計画」に基づき、商